

SA 吹田 通信 第24号

2005年5月

発行 SA吹田事務局 〒565-0806 吹田市檜切山 21-D-808

TEL/FAX 06-6876-1659

2005 年度がスタート

会長 武内 信憲 (SA15期)

4月25日(月)午後1時半から北千里公民館会議室で、2005年度のSA吹田の総会が開催されました。85名(委任状45名含む)の出席をいただき、橋副会長司会のもとで丹羽会長の挨拶と、SA連協の久保会長の挨拶および近況報告がありました。奥企画担当役員が議長に選出され審議が行われました。各議案が承認され新役員も決まりました。

日頃から各地域や施設や学校、市の行事への参加などおもちゃ作りや歌体操は、大変活発に活動をされてきました。また学校での車椅子・アイマスク体験指導や「公園を見守ろう会」など新しい取り組みも始まっています。

今年は全体集会や4ブロックごとの会合等を開いて研修会を実施したり、会員の方のご希望を取り入れて新たな取り組みをしたいと考えています。SA連協主催ではおもちゃ委員会・歌体操委員会も始まっています。

昨年同様に皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

<< 「子育て応援フェスタ2005」に参加して >>

橋本一江 (SA6期)

新緑の季節 好天气に恵まれた5月5日、万博記念公園内で開催されたSA連協歌体操教室に参加しました。

大勢の人達の中で私達グループは葉桜の大木の下に陣取り、ステージイベントを見物しました。「親子で楽しむスポ・ツ体操」は、幼児といっしょに一組になった親子のふれ合いに、若いお父さん達の真剣な演技を垣間見、ほほ笑ましく思いました。クッキン缶を利用した三線の模造楽器による郷土音楽の演奏、その他にクイズタイム、親子でダンス、劇など盛り沢山のプログラムの中に、私達シルバは(三世代交流として)「いきいき歌体操SAグループ」として出場しました。会場の皆さんと一緒に出来る歌体操、皆知っている曲目で会場に建てられた沢山の鯉のぼりの泳いでいるさまを見ながら、「鯉のぼり」の歌で手指の体操「サザエさん」の歌で若返り体操、会場の人達を巻き込んだ「六甲おろし」で下肢の体操や「森の水車」「ふたりは若い」などを披露しました。出演がすんでから、新緑の木陰で皆で若返り体操を元氣よく20曲練習しました。

さわやかな空気を胸いっぱい吸い、思いっきり身体を動かした幸せをかみしめることが出来ました。

(^^) “ 子供の笑顔を心の糧に ” (^^)

清水房次郎 (S A 1 3 期)

私達の子供の頃と現在を比較すると、当時の私達には家の中で遊ぶものがなく屋外で遊ぶしかなかった。昨今、子供に過保護になればなるほど、親が子供の面倒をみていないような姿が見受けられる。かつては 生活に困っている親の姿を見て、子供心に親を助けねばと思い、教師は怖くもあつたが愛情があり尊敬もしていた。

現在はかつての反対の環境下にあるように思えるのであるが、これが幸せな時代といえるのだろうか？ 子供達に自然の環境の大切さを教え、自分の心の中に豊かな心が培われるようにすることが肝要なことではなからうか？

私は世代間交流活動を続けて 4 年余り、その間いろいろな子供達や高齢の方々との出会いがあつたが、子供には市販の完成品や、手作りであっても出来あがつたものを与えるのではなく、子供と一緒に作り、子供と一緒に遊ぶ中に楽しい交流ができていくと考える。この小さな喜びの中に時には心に染みとうるほどの感動を受けるのだ。

素直な子、気ままな子、短気な子、几帳面な子、ヤンチャな子等、いろいろな性格の子供がいる。私は子供達にオモチャ作りを通じて、成し遂げる喜びや満足感を忘れないように、また小さな感動が大切に育むように子供に接し、これまで肌で感じとった貴重な体験を生かすべく心がけているつもりだ。

“ 子供の笑顔を心の糧に ” そこから生まれる作品に、 S A としての充実した使命をより感じさせられる。何事によらず人に教えるということは、自分自身が学びまた勉強することであり、物まねではなくちょっとしたヒントを自分流にアレンジ、試行錯誤をくりかえしながら開発していくこと。やる気さえあれば私達高齢者であっても出来ること、それがたとえ小さなものであっても新しいオモチャを生み出すもとなるのだ。

S A 交流活動を通して、いろいろな材料を教材として活用し、その積み重ねの作品は、私の人生の足跡でもあるのです。

「 垂水会館 4 0 周年記念祭 」に参加して

小北月子 (S A 1 3 期)

5 月 8 日 (日) 「垂水会館 4 0 周年記念祭」が開催され、クラフトの部 手づくりおもちゃに参加しました。会場は二部屋に分かれていて、もう一部屋は別のグループによる折り紙やプラバンづくりの部屋になっていました。

集合時間の午前 1 1 時 3 0 分には、すでに先着の方々により幟が立てられ会場の準備が出来あがっており、あとは子どもたちを待つばかりになっていました。

阪口市長の祝辞もあり、演芸 カラオケその他盛り沢山のプログラムが組まれていました。地域の方々が皆で協力し合い、記念祭を盛り上げようと会館の隅々にまでいろいろと気配りされていました。

当日の S A 参加者は 1 0 名、 1 2 時頃家族と一緒に子どもたちが集まりはじめ、おもちゃづくりが始まりました。子どもたちは目をキラキラさせて、どこから作り始めようかなと決めかねているようでしたが、やはりいちばん興味のあるおもちゃから始めたようでした。

おもちゃの種類は、「パクパク人形」、「カップごま」、「牛乳パックのヘリコプタ - 」、「ころころ虫」、「ぶんぶんごま」、「ストロ - とんぼ」、「紙ひこうき」、「びっくり箱」の 8 種類でした。児童は幼児から小学校低学年がほとんどで、私たちの説明を聞きながら、若いお父さんやお母さん達も興味深げに子どもと一緒に熱心に作っていました。

完成したおもちゃの遊び方をアドバイスし、早速にその場で試して遊んでもらいました。楽しそ

うな笑顔が会場いっぱいにあふれ、友達や兄弟にあげるのだといって沢山作っていく子どもも多く、持ちきれないほどのおもちゃを手に満足そうに帰っていきました。参加した子どもの数は約70～80名くらいかと思いますが、終了時間いっぱいまで会場は次々と子どもたちで賑わいました。

地域の方々や子どもたちと楽しく交流出来たことに感謝し、身近にあるものを工夫しておもちゃを作る楽しさや、自分で作ったおもちゃで遊ぶ楽しさを解ってもらえたかな、と思いながら会場を後にしました。

すいた国際交流プラザでの[手作りおもちゃ]

八木秀雄(SA16期)

5月14・15日に吹田産業フェアが市役所駐車場及びメシアタ - の会場であり、同時に第10回国際交流プラザが開催された。主に会場はメシアタ - の3Fと4Fで、手づくりおもちゃは14日のみ、昨年は3Fの吹き抜けになっているレセプションホール前の手すり付近で並んで作ったが、今年は3Fの通路からすこし入った和室で作ることになった。

予想では見通しの悪い奥まった場所だけに来客は少ないだろうとの見込みであった。そこでおもちゃ作りPR用旗3本を、2F階段の上がり口、3Fの昇りつめた所、そして和室に通じる入口に立て誘導するようにしてみた。これが大成功、最初は呼び込みをしていたのだが、まもなくして親に手を引かれた子供たちが集まりだし、本日のサポ - ト役 山地さん、岩城さん、小北さん、笠井さん、多村さん、瀬野さん、梨木さん、それに私、そして 将来保育者をめざす大学生の水野さんに松原さんの計10人で対応した。

作品は「紙ヒコ - キ」「ころころ虫」「カップごま」「消えないシャボンダマ」の各50～70個を、午前中に子供たちにやさしく作る楽しさを教え、子供たちは出来あがった作品を飛ばしたり、廻したりで大喜びで遊んでくれた。昼頃になり やっと人波がひいてきたので少し休憩をとることが出来た。午後からは石井さんが参加された。

当初予定していた材料がなくなってしまうほどであったが、そこはベテラン揃いのこと予備でもって対応し、作品は「ぶんぶんごま」「猿のカスタ - ネット」「折り紙ヒコ - キ」「ストロ - トンボ」で、予想以上の来客に笑顔での世代間交流、気がつけば終了時間になり、午後の材料も使いきってしまった。参加した子供の数は約150名くらいかと思われます。

会場が変わっても盛況に終わったこと、子供たちが自分で作ったおもちゃを両手にしっかりと持ち、満足した顔で手を引かれて帰る姿を見て、参加した者にとって大変嬉しい一日でした。

～ 「吹田市こども野外カ - ニバル」に参加して ～

梨木恵美子(SA17期)

5月5日(木)「こどもの日」、千里北公園・吹田市青少年野外活動センターにて下記のコ - ナ - に参加しました。

コ - ナ - 名： 「たのしい手づくりおもちゃづくり」

内 容： リサイクル用品(牛乳パック)などを用いた「ストロ - とんぼ」・「風車」・「紙飛行機」などの色々なおもちゃづくり。

当日は「こどもの日」にふさわしく少し暑いかなの快晴、千里北公園の広場には数え切れないほどの色とりどりの鯉のぼりが風を受けて泳いでいます。先輩たち総勢38名の仲間に入れていただき、SA17期7名はSA吹田「おもちゃづくり市民塾」で教わりたてほやほやの“まわる鯉のぼり”の材料を準備しての参加です。

ずらっと並べられた机の前に、何を作ろうかと興味津々の子供たち、「紙飛行機」・「風車」・「カップごま」・「ぶんぶんごま」・「ストロ - とんぼ」・「くるくる金魚」・「キャンディボックス」・「びっく

り箱」・「パクパク人形」等々、私たちも鯉のぼりのしっぽがうまく回るか一つひとつ試しながら子供たちと一緒に作り始めました。出来あがった時の笑顔、回った回ったと、また笑顔。昼食のおにぎりを交代でとりながら、どんどん時間が過ぎて行きました。

家族が一緒になって楽しめる手作りコ・ナ・ヤゲ・ムコ・ナ・等、アイディアいっぱい広い公園にあふれていました。

[第7回 ボランティア・フェスティバル] 開催

佐藤百合子 (SA10期)

毎年恒例の「ボランティア・フェスティバル」が、5月22日、吹田市役所の駐車場で開催されました。早朝から今にも降り出しそうな空もようではあったが、雨天決行ということでどのブースでも着々と準備が整っていきました。さまざまな店が食べ物や衣類、装飾品などを並べ、10時になる前から早くも活気を見せはじめました。

演壇では小雨降るなか、青い鳥グル・プの歌体操が始まったが、その後雨は小休止となってくれ、壇上では劇調に演技が進んでいった。今年は出展グル・プの幹事さんたちによるお話もあり、それなりに盛り上がった行事であったように思います。

--- SA吹田 活動予定表(6月~7月) ---

6月 2日(木)	「やさしい日本語」	10:30~12:00	北千里公民館
4日(土)	「にぎやかネット」開校式	10:00~11:00	山田東中学校
9日(木)	日本語を知ろう・学ぼう・お話しよう「やまびこ」	10:00~12:00	北千里公民館
11日(土)	SA吹田「おもちゃづくり市民塾」	10:00~12:00	北千里公民館
13日(月)	第4回「懐かしい歌声の集い」	14:00~16:00	南千里市民センター
16日(木)	「やさしい日本語」	10:30~12:00	北千里公民館
18日(土)	「サタデ - スク - ル」	9:30~11:30	江坂大池小学校
20日(月)	わくわくタイム「おもちゃ館」	14:30~15:30	千里第二小学校
7月 2日(土)	にぎやかネット「おもちゃづくり」	10:00~12:00	北山田小学校
4日(月)	わくわくタイム「おもちゃ館」	14:30~15:30	千里第二小学校
7日(木)	「やさしい日本語」	10:30~12:00	北千里公民館
9日(土)	SA吹田「おもちゃづくり市民塾」	10:00~12:00	北千里公民館
14日(木)	日本語を知ろう・学ぼう・お話しよう「やまびこ」	10:00~12:00	北千里公民館
16日(土)	「サタデ - スク - ル」	9:30~11:30	江坂大池小学校
16日(土)	竹の子クラブ	13:30~15:00	山田第三小学校
19日(火)	SA連協「おもちゃ教室」	13:00~15:00	いきいきエイジングセンター
21日(木)	「やさしい日本語」	10:30~12:00	北千里公民館
24日(日)	「吹一なまつり」	15:00~17:00	吹田第一小学校

<編集後記>

- おねがい -

2005年度は、17期生が新たに加入し100名を超える会員での発足となりそうですが、今年度の会費が未納になっておられる方がいらっしゃいます。納入方よろしくお願い致します。
(振込先口座番号 00960-0-178393 加入者名 SA吹田 会費1,000円)
 会報新担当として悪戦苦闘の末、一応なんとか恰好がつかしました。出来るだけ読みやすくとは思うのですが、なかなか思うようにまいりませんでした。これまでの諸先輩のご苦勞を改めて感じる次第です。

次号からも一層頑張りますので、皆様からのご意見や活動報告などの投稿お待ちしております。